

岩手県 雫石町

SHIZUKUISHI



雫石町で農ある暮らし URNS ツアーレポート

牧歌的な風景が広がる岩手県雫石町。この町には、宅地付き農地としておススメのコテージむらがある。移住や農業に関心のある首都圏の方々と、農的なライフスタイルの可能性を探しに初秋の雫石町を訪れた。



雫石町に移住した増谷さん、上村さん両ご家族と食事しながら交流。日々の暮らしの中で感じる生の声は貴重な情報源だ。

コテージむらの体験農園で野菜の収穫体験。五感で、普段の都会暮らしとは味わえない感覚を体験し、参加者の気分も高まった。

西山さんのお宅は、夫婦での暮らしにフィットする広さ。家のすぐそばには、大切に育てている季節ごとの野菜の畑が広がる。

「まずは長期休みを利用して滞在してみたい」「広い土地だからこそ、できることがたくさんありそう」と、参加者のイメージも膨らむ。自分自身の意思や行動で、ライフスタイルを豊かに耕せる環境がコテージむらにはあるようだ。

約20年前にコテージむらに移住した西山さんは、「見たこともないような紅葉の美しさに魅了された。この地域は寒いけど、その分四季の美しさがある」と、コテージむらで暮らし実感語る。最初は作物の栽培がうまくいかず、東京に戻った経験もある。しかし、再びコテージむらでの暮らしにチャレンジ。「田舎は、自分自身が興味を持てば何でもやれる可能性がある場所だ」と語る西山さん。農業だけでなく地域の劇団活動や、イベントを通じて、人との繋がりを増やし、仕事や暮らしの幅を広げている。

コテージむらは、新しく農業や農的暮らしを始めたい方向けの宅地付き農地。広い土地を活かして農業をしたり家畜を育てたり、パンづくりをする人も。ほとんどは県外からの移住者だ。岩手県や雫石町、岩手県農業公社など、様々な組織・団体がバックアップしている。この日のモニターツアーには、将来的な移住や農業に興味のある方など首都圏から5名が参加し、コテージむらの可能性を一緒に探った。

お問合せ

公益社団法人岩手県農業公社総務部総務課
☎019-651-2181
✉cottage@i-agri.or.jp
🌐http://www.i-agri.or.jp

NPO法人しずくしい・いきいき暮らしネットワーク
コテージむら管理センター
☎019-695-2306
✉shizuku-ikiikinpo@sunny.ocn.ne.jp

岩手県農業振興課 農用地計画・交流担当
☎019-629-5645
✉AF0004@pref.iwate.jp

ツアーで出会った雫石町のみなさん



上村聡さん・奥寿帆さん・天乃ちゅん

B&B「HAIJI」を経営している上村さん夫妻。聡さんは名古屋出身、奥寿帆さんは岩手県奥州市のご出身。冬は雲深く雪深い景色の美しい場所だ。移住したペンション経営を楽しんでいる。



増谷光記さん・美奈子さん・心葵ちゃん

地域おこし協力隊の隊員として、活動中の光記さん。移住後は雫石町の日常の風景の美しさに感動しているという。現在は、得意のリノベーションをしながら、地域の人を巻き込んで活動している。



西山甲士良さん・町子さん

コテージむら内のスウェーデンハウスにお住まいのお二人は部内からの移住者。窓から畑の見えるキッチンが印象的なお宅で、田舎だからこそ実現できる自分達の暮らしを営んでいる。